

別記様式（第3条関係）

会議録（1）〈要約〉（案）

会議の名称	第2回桶川市振興計画審議会
開催日時	令和3年1月30日（日） （開会）午後2時00分、（閉会）午後4時15分
開催場所	桶川市役所 会議室303、304
主宰者の氏名	企画財政部企画調整課
議長の氏名	大沢会長
出席者氏名 （委員）	水村副会長、岩崎委員、新島委員、岡安委員、井上委員、秋山委員、 和久津委員、中村委員、澁谷委員、吉田委員
欠席者氏名 （委員）	永井委員
説明員氏名	企画財政部企画調整課、ランドブレイン株式会社
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 川邊部長、本庄副部長 企画調整課 向井課長、篠原係長、野原主任
会議事項	議 題
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 市長挨拶</li> <li>3. 報告事項 （1）第1回審議会の結果について</li> <li>4. 議事 （1）（仮称）第六次総合振興計画の策定について （2）市民意識調査の結果について （3）その他</li> <li>5. 事務連絡等</li> </ol>
配布資料	決定事項等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回審議会では、第五次総合振興計画後期基本計画の達成度評価、各種アンケート調査結果に基づき、現状の総合振興計画と市民意識の共通理解を図り、次期基本構想について議論する。</li> <li>・今回の審議内容について、御意見がある場合は、2月4日（金）までに事務局へ連絡する。</li> </ul>
<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回審議会会議録・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1</li> <li>・（仮称）第六次総合振興計画の策定に向けて・・・・・・・・・・資料2</li> <li>・市民意識調査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3</li> <li>・桶川市振興計画審議会条例及び名簿・・・・・・・・・・参考資料1</li> </ul>	

会議録(2)

議事の経過

発言者	発言内容
議題(1)(仮称)第六次総合振興計画の策定について	
事務局	資料2に基づき、総合振興計画の変遷、第五次総合振興計画の概要及び進捗状況等について説明。
会長	ただ今説明のありました件について、何か御質問や御意見等はございますか。
委員	P12「近隣市町土地利用構想・方針」について、桶川北本 IC 周辺の北本市の複合的開発ゾーンについて具体的にどのような進捗状況になっているのでしょうか。
事務局	桶川北本 IC 周辺は、本市でも複合開発エリアと位置付けています。北本市の土地利用構想は、桶川北本 IC による交通利便性の向上を踏まえた土地利用となっています。現時点で、北本市から具体的な開発の話は何っていないところです。
委員	次期総合振興計画の検討に先立ち、第五次総合振興計画の達成度の把握が必要となります。 P15 に、後期基本計画の達成状況が記載されていますが、大綱1については達成率0%となっています。達成とはどういった事を意味するのか、評価の仕方や定義を教えてください。
事務局	この表の達成率は、第五次総合振興計画後期基本計画における施策毎に設定した指標の達成状況を表記しています。指標は、施策の達成度をはかるため設定しており、一覧は、基本計画書の p180～p186 に掲載しています。
委員	達成率については、次回審議会において、内訳など、もう少し詳しい資料を示してください。 また、達成出来ていないものについては、どのような要因があったのか、簡単に理由を示していただけると良いと思います。
会長	第五次総合振興計画のPDCAサイクルとして、達成度評価は重要です。本日の資料では、達成率は1か0かの表現になっています。この資料の達成率だけでは間違ったメッセージとなり、ミスリードしてしまう恐れがあります。 計画の進捗状況をどのように評価すべきか改めて検討が必要です。また、社会経済の変化で見直さざるを得ないものもあるため、評価は丁寧に行った方が良いと思います。次回、必要な資料を事務局から提示いただければと思います。
事務局	次回審議会にて、第五次総合振興計画の達成状況をまとめた資料をお示しいたします。
委員	P17の将来人口推計について、将来の人口推計が右肩下がりとなっているにも関わらず0～14歳は比較的緩やかな減少となっています。出生率が上昇する見込みなのでしょうか。
事務局	P17の将来人口推計については、前回(H28)の推計結果に対し、今回(R3)の推計の方が、減少が緩やかになっていることを示しています。 年齢三区分別人口では、年少人口となる0～14歳では、前回と今回では

	<p>ば変化がない状況です。P9の資料にあるとおり、子育て世代の転入などもありますので、年少人口の推移が本市の出生率と連動しない状況となっています。推計結果は、転出入による増減など、本市における近年の人口のトレンドを反映したものとなっています。</p>
委員	<p>説明の中で、日本全体で人口が減少するという説明がありましたが、魅力ある地域では若い人が移住するケースもあります。人口が減少することを受け入れるだけでなく、転入を増やすといった視点も重要だと思います。 【意見】</p>
委員	<p>P9について、子育て世代に対するアプローチについて説明がありましたが、若い世代に対し、桶川市に住み続けたいと思っただけのようなメッセージが弱いと思います。独身の方や結婚されている若い人たちに桶川の良さを発信する必要があると思います。</p>
事務局	<p>本市は、住宅都市という側面から、都市基盤整備に長く取り組んでいます。また、市民アンケートでは、災害の心配が少ないといった御意見をいただいております。一方で、若い世代の方々に対し、桶川市の魅力をどう発信していくのかについては、手法なども含め課題と受け止めています。</p>
委員	<p>まちの魅力について、若い人に共感していただけることが大切だと思います。若者が魅力を感じるまちづくりが、将来的には移住や定住につながるものだと思います。 【意見】</p>
会長	<p>子育て世代、若い世代など世代間のほか、多様化しているライフスタイルにも着目し、検討を進めたいと思います。</p>
委員	<p>中学生まちづくりアンケートは、既に実施されたのですか。</p>
事務局	<p>WEBのgoogleフォームを利用してアンケートを実施しました。対象は、市内各中学校の2年生としました。</p>
委員	<p>子どもたちに聞くことは重要です。アンケートを通じて、自分達が住む場所を考えたり、愛着がわくきっかけになったりすると思います。 【意見】 昨年は、子ども議会を開催しましたが、子どもの意見や考えを大人が受け取る場が大切だと思います。 【意見】 面白いアイデアも出ると思いますので、アンケートの結果は次回以降、教えてください。</p>
事務局	<p>次回の審議会で、中学生アンケートの結果をお示しします。</p>
会長	<p>子どもが、市に愛着をもつきっかけをつくるという視点は大切です。ぜひ集計結果を子ども達にフィードバックしていただきたいと思います。 【意見】</p>
委員	<p>桶川市の魅力度を把握するものとして、転入・転出の理由があると思います。どのような理由で転出されたのかなど、把握できるものがあれば教えてください。</p>
事務局	<p>転入・転出アンケートを実施していますので、次回集計結果をお示しします。</p>
会長	<p>第五次総合振興計画後期計画の達成状況、中学生アンケートや転入・転出アンケートなど、事務局でまとめていただいて、次回お示しいただければと思います。</p>
事務局	<p>承知しました。</p>

議事の経過	
発言者	発言内容
議題（２）市民意識調査の結果について	
事務局	資料3に基づき、市民意識調査結果について説明。
委員	この市民意識調査の結果について、集計する際に年齢別や地区別など色々な分析をしていると思います。次回、参考資料としてお示しいただけないでしょうか。
事務局	次回審議会にて、地区や世代ごとのクロス集計の結果をお示しします。
委員	人が幸せを実感するには、良好な人間関係の構築が重要です。 グーグルの離職率が低い理由は、職場環境が良く、良好な人間関係にあると言われていています。心理的な安全性が確保されている職場は、離職も少なく、働く人も幸せでいられます。 人と人との空間という点では、まちづくりも通じる点があると思います。まちづくりによって、より良い都市環境を築くことができれば、そこに住む人々の良好な地域関係の構築にもつなげることができ、まちの魅力や幸福度も上がっていくと思います。【意見】
会長	幸福度といった視点は、まちづくりにおいて大切な要素です。次期総合振興計画を議論していく中で参考にしていきたいと思います。
委員	アンケートは、次期総合振興計画にどのように反映されるのでしょうか。P12の高齢者福祉の充実について、高齢者の中には動けない状態の人や独居の方がいらっしゃいます。そのような方々は、転居という選択肢はなく、「桶川市に住み続けるかどうか」といった視点はあまりないと思います。設問のあり方を再検討した方がよいと思います。【意見】
事務局	アンケートは、経年変化を把握するため、平成21年度から実施しています。次期計画では、設問内容なども含め、見直しを行いたいと考えております。
会長	アンケートの設問を同じにすることで、市民意識の経年変化を把握できるメリットもあります。抜本的に質問を変えると経年変化が分からなくなりますので、同じ質問を設定し続けることも大切です。 今回のアンケートについて、世代や地区などクロス集計によって、より詳しく分析できるところもあるため、事務局で次回資料を用意してください。
事務局	次回審議会にて、世代や地区などクロス集計による詳細をお示しします。
副会長	複数回答、単一回答によって、棒グラフの積み上げ表記（％）が異なってきますので、次回資料では、選択肢毎に回答数を明示するなど、見やすくしてください。
事務局	承知しました。
会長	単一回答か複数回答かなど、設問条件を記載しないと誤解を招くので資料作成の際に表記願います。
事務局	承知しました。
委員	アンケートは、平成21年度から調査しているとのことですが、設問は全く同じでしょうか。また、アンケート調査の結果は、計画にどのように反映しているのか教えてください。 P13の「サービス付き高齢者住宅」についてサ高住に限定しているのか、もっと広い意味での福祉施設ととらえているのか説明いただきたい。

事務局	<p>実施した5回のアンケートは、全く同じ設問ではなく、一部変えています。「福祉施設（サービス付き高齢者住宅）」は、サ高住だけではなく福祉施設全体を指しています。</p> <p>アンケートは、計画期間中の市民意識の変化を把握することを目的としています。一部、評価指標に使っているものもありますが、アンケート実施毎に計画に反映しているといったことは行っておりません。</p>
会長	<p>本日は、第五次総合振興計画の達成度評価、人口減少対策の中で多様なライフスタイルを考慮した議論、市民の意識を把握する各種アンケートなどについて御意見を頂きました。次回審議会での議論を深めるため、事務局の方では、達成度評価や各種アンケートの集計資料などを整理してください。</p>
事務局	<p>次回審議会で、整理した資料をお示しいたします。</p>
会長	<p>人口減少、少子高齢化が一層進展する中、まちの「健幸度」を高め、人と人とのつながりをどう築いていくのが課題となってまいります。市民ニーズや社会環境の変化を踏まえ、何を変え、何を残すのか、次回以降議論できればと思います。</p> <p>また、今回、限られた時間での議論となりました。以降、何か御意見等がございましたら、2月4日までに事務局まで、ご連絡をお願いします。</p> <p>以上をもちまして、第2回桶川市振興計画審議会を閉会いたします。慎重な御審議をいただきありがとうございました。</p>